銃後の協調會

全國的産業平和運動の概貌

協調會では既に東京に於て、戰時産業勞働問題解決の爲に、官民各方面の當事者と協力して、或は戰時勞働對策懇談會を設け、或は官民勞資懇談會、或は事業主懇談會、或は勞働團體懇談會等の諸會合を開催して種々努力して來たのであるが、時局の進展に鑑み、更に之を地方に於ても實施するの必要を感じ、十月二十日から同二十九日の十日間に亘り、山口、福岡、大阪、愛知の各産業都市に於て産業平和運動を展開したのである。

陸海軍並に監督官廳の協力

此の企てに對し、陸海軍當局に於ては特別の贊助を寄せられ、本省並に地方監督作業廳の關係官を派遣せられて、軍需工業動員に關し、縷々説明して事業主側の諒解を一層深からしめた外、大阪に於ては、内務省社會局勞働部長成田一郎氏も參會し、當局としては此の事變下に於て、勞働時間、災害防止、保健衛生の三要素を内容とする指導方針を建て、勞働行政に當つてゐる旨を述べ、更に開催地の各縣廳に於ても夫々關係官が出席し、官民の意志疎通の上にも少なからぬ寄與を爲した。

協調會の出動

協調會からは、特に河原田前常務理事が西下せられ、時局の重大性について所懷を述べ、更に日本の將來は、漸時國家主義的全體主義的方向に進むべき趨勢にあることを指摘して、參會者の覺悟を促がし、

町田常務理事は、逐次戰時體制になりつゝある今日の情勢下に於て、産業人として如何なる心構へ勞働界に於て最も重大なるかを擧示して注意を喚起し、特に今後、軍官民の當事者が、金と物とに對する以上に、人の問題について淨慮せねばならぬ所以を力説した。

猶ほ長岡常務理事から、戰時勞働問題について、生産力擴充に關する積極的方面、應召者の待遇又は平和産業の救濟乃至は轉換等に關する積極的方面、次に社會運動、社會思想等に關する社會問題の三方面より觀察して、頗る示唆に富んだ專門的な意見の開陳があり、更に長谷參事は、戰時に於ける勞務管理に關して、産業道を中心として、勤勞精神を作興し、此の根幹の上に立つて、勞務擔當者が、最も沿眼し實行せねばならぬ個々の問題について具體的な説明をなした。

斯くて地方産業勞働界の第一線に活躍する事業主並に勞務擔當者、及び勞働團體の各幹部との間に、戰時及び戰後の勞働問題に關し、胸襟を披瀝して懇談討議し、頗る相互の認識と理解を深め、銃後に於ける産業報國の完璧を期する爲の、一大機運を促進し來つたのである。猶各地に於ける産業平和運動の狀況は左の如くである。

山口縣下工場鑛山事業主懇談會

十月二十日午後一時より同四時半迄、宇部市商工會議所樓上に於て、縣下の事業主約五十名出席し、本會側より町田常務理事、長谷參事、清原福岡出張所長列席の上開催された。先づ最初に岡崎山口縣工場課長より開會の挨拶があり、續いて町田常務理事より、非常時と産業平和と題する講演が行はれ、次いで長谷參事から、戰時に於ける勞務管理の重點について詳細なる説明があつた後、隔意無き懇談に移つた。

懇談内容

勞働力不足の問題を中心として、相互に熱心なる懇談が交されたが、その中左の如き意見の發表と協調會に對する希望があつた。

一、職工の爭奪防止について

防止方策の一つとして、或る陶炻器工業組合に於ては、同業者間の申し合はせにより、年一回一定の期間を限つて職工の移動を認めてゐるが、若し此の期間以外に勝手に他に移動した者に對しては、次の移動期迄採用せぬこと〻してゐる。

一、職業紹介機關の擴充について

當地方は職業紹介機關が少い爲洪だ不便を感するから、是等機關の擴充を圖つて、勞働力の補給に遺憾無きを期せしめねばならぬ。

一、中小工業從業員の教育について

勞務者教育の必要なることは贅言を要しないが、特に中小工場從業員の教養を高める爲に、或はパンフレットやラヂオを通じ、或は特別の機關を設置する等して、此の方面にも協調會の考慮を煩はし度い。

福岡地方勞働團體懇談會

十月二十一日朝、河原田理事、長岡常務理事等を下關に迎へた町田、長谷、清原の各氏は何れも打ち揃つて、此の日午後一時半より同四時半まで、八幡市大谷會館樓上に於て開催された懇談會に出席した。勞働團體からは、總同盟九州聯合會々長伊藤卯四郎氏外幹部約二十五名出席。清原出張所長の開會の辭に次いで河原田理事の挨拶があり、引き續き町田常務理事の非常時と産業平和及び長岡常務理事の戰時勞働問題に關する所見の開陳があつて其後懇談に入つた。

懇談内容

戰時勞働問題に關連して忌憚なき意見の交換が行はれたるも、特に强調せられたる問題は左の如し。

一、中小工場に於ける職工の移動防止について

中小工場に於ける熟練工の移動防止又は應召者の待遇は、國家若しくは地方監督官廳に対策を講ずるの外途がないであらう。

一、日本に對する英米勞働組合の認識の是正について

英米の勞働組合が支那の逆宣傳に動かされ、排日行爲に出てゐるが、我が國の勞働組合は、日本の立場を充分彼等に認識せしめ猛省を促す必要がある。

一、共他應召者遺家族の待遇並に日本精神論に對する各種の意見が交換された。

※ ※ ※

福岡地方産業福利部委員總會

十月二十二日午前十時半より同午後四時迄、福岡市昭和生命會館に於て、産業福利部委員四十數名並に協調會幹部出席の上、非常時局に於ける産業勞働問題を中心に總會を開催した。先づ清原出張所長立つて開會の挨拶を述べた後、河原田理事より時局に就て所感を披瀝せられ、次いで非常時と産業平和に對する町田常務理事の所懷があり、更に長岡常務理事の戰時勞働問題に關する講演の後一同午餐を共にした。斯くて暫く休憩の後引續き長谷參事より戰時勞務管理の重點について説明を爲し其後懇談に移つた。

懇談内容

支那事變の影響による勞働强化と能率の問題、及び勞務管理を中心とする戰時勞働問題について、工場鑛山に於ける實情並に意見の發表あり、次いで協調會に對して、イ、産業人に正しい時局の認識を與へるやうに善施の勞を取ること、ロ、從來の協調會主催に係る福岡地方勞資懇談會を將來も繼續して主催され度き旨の希望出で、本會幹部よりも夫々意見の發表があり、頗る意義深き會合であつた。

福岡地方役員懇談會

十月二十二日午後五時より同九時迄、福岡市東公園に於て開催。町田常務理事並に河原田前常務理事より夫々挨拶があり、之に對し松本健次郎氏が役員を代表して、協調會平生の勞を謝し、併せて國家多事の今日一層我が國産業勞働界の爲に盡力せられ度き旨の挨拶があり、食事を共にして乍ら隔意なき意見の交換が行はれた。

出席者氏名（順序不同）

役員側

畑山四男美氏　久世　庸夫氏
松本健次郎氏　石橋德次郎氏
渡邊　福雄氏　安川第五郎氏
松本幹一郎氏　野田勢次郎氏
玉井　磨輔氏　小西　泰雄氏
高取　盛氏　岡部　黎氏
笠井　眞三氏（代理）

協調會側

河原田稼吉氏　町田辰次郎氏
長岡保太郎氏　長谷　孝之氏
清原　進氏　藤澤　朝世氏

九州地方工場鑛山事業主懇談會

福岡地方工場鑛山事業主懇談會は左記の如く頗る盛大に擧行されたが、特に陸海軍本省より軍需工業動員の擔任者を派遣せられ、散會迄極めて打ち割つた懇談が行はれた。

一、日　時　十月二十三日午前十時半—午後三時半

一、場　所　福岡市因幡町　福岡縣教育會館樓上

一、出席者　陸軍造兵廠小倉工廠長渡邊少將外陸海軍監督作業廳關係官及び福岡縣警察部長廣瀨永造氏外各官廳關係官並に福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎、山口の各縣工場鑛山より社長重役勞務擔當者等約七十名

一、懇談會次第

1. 開會の挨拶
協調會福岡出張所長　清原　進氏
2. 時局に就て
協調會理事（前内相）　河原田稼吉氏
3. 非常時と産業平和
協調會常務理事　町田辰次郎氏
4. 戰時勞働問題に就て
協調會常務理事　長岡保太郎氏
（共に　食）
5. 軍需工業動員に就て
海軍省軍務局　勝田　治夫氏
海軍軍中佐
陸軍省兵備局砲兵少佐　水野　潔氏
6. 懇談内容
勞働力の需給調節及熟練工の爭奪防止の問題が懇談の中心となり、各方面より意見の發表があつたが、特に鑛山方面より炭坑の勞力不足については、事業の重要性に鑑み、各方面に於ける人々が鑛山に對する認識を深められ、可及的急速に補充對策の必要ありとて種々意見の發表あり、且叙上の諸問題に就て陸海軍及び協調會に對し夫々希望の申出等があつて參會者相互に裨益する所極めて甚大なるものがあつた。
7. 閉會の挨拶
協調會常務理事　町田辰次郎氏

京阪神地方勞働團體懇談會

十月二十四日午後五時より同九時半迄、大阪市清交社に於て、總同盟大阪聯合會々長西尾末廣氏が組合幹部を代表して挨拶したる後、海員組合組合長堀内長榮氏等京阪神地方に於ける勞働團體幹部十數名出席、本會側より、河原田理事町田、長岡兩常務理事、長谷參事、松村大阪支所長等出席、猪社會局勞働部長成田一郎氏も參會して懇談會を開催した。先づ松村支所長より開會の挨拶をなしたる後、河原田理事、町田、長岡兩常務理事より夫々所感を述べられ、更に成田勞働部長よりも時局下に於ける勞働行政の指導方針等につき説明があり、之に對し西尾末廣氏が組合幹部を代表して挨拶したる後、一同晩餐を共にし、共後引續いて相互の間に眞劍なる懇談が交はされた。

懇談内容

政府の勞働行政に對する希望より進んで、時局を如何に認識し、且又此の時局下に於て勞働組合が如何なる處置を講ずべきか等につき極めて赤裸々なる意見の交換があつた。

京阪神地方事業主懇談會

日本産業の樞軸を爲す京阪神地方の事業主懇談會は左の如く戰時産業勞働問題を中心に非常な緊張裡に開催された。

一、日　時　十月二十五日午前十時半—午後四時半

一、場　所　大阪市東區備後町　綿業會館大ホール

一、出席者　池田大阪府知事外官廳各關係官及び陸軍造兵廠大阪工廠長尼藤少將、大阪海軍監督官事務所監督長松崎少將外陸海軍監督作業廳各關係官、並に京都、大阪兵庫の各府縣工場事業主等約百二十名、

一、懇談會次第

1. 開會の挨拶
協調會大阪支所長　松村勝治郎氏
2. 時局に就て
協調會理事　河原田稼吉氏
3. 非常時と産業平和